

2025 Holland Beker Report 4

(6/28,29)

6月28日(土) W2-/BW2- 予選

Holland Beker初日、U23カテゴリーのBW2-は、シニアカテゴリーのW2-に統合されレースを行うことになりました。

9クルー(うちU23カテゴリーは3クルー)が2組に分かれ予選を行い、日本は予選1組目の激しいレースの中で決勝進出ラインの3着に入り、見事決勝進出致しました。



ゴール前まで接戦が続く激しいレースの中、3着に食い込んだBW2-クルー(バウNo.4)。左から、東野選手(同志社大学)、銚藤選手(滋賀大学)、

6月28日(土) W2-/BW2- 決勝

決勝は予選各組で3着以上に入った6クルーで争われました。

強い順風と波の中、スタートから日本は先行するクルーを追いかける苦しい展開に。距離が進む中で何度も前に追いつこうと力漕するも及ばずそのまま6着でゴール。同じU23カテゴリーでも2着となり悔しい結果となりました。



決勝に向け蹴り出すBW2-クルー。左から、銚藤選手(滋賀大学)、東野選手(同志社大学)



決勝ゴール前で激しく追いつけるBW2-クルー。左から、東野選手(同志社大学)、銚藤選手(滋賀大学)。

6月29日(日) W2-/BW2- 予選

Holland Beker二日目。この日のU23カテゴリーへのエントリーは日本の1クルーのみだったので、前日同様シニアカテゴリーのW2-に統合されレースを行うことになりました。7クルー(うちU23カテゴリーは1クルー)が2組に分かれ予選を行い、日本は予選2組目で、前日同様激しいレースを繰り広げましたが、わずかの差で決勝進出を逃しました。



決勝進出をかけたゴール前のデッドヒート。日本は必死に追いつけるもわずかに及ばなかった。
左から、東野選手(同志社大学)、銚藤選手(滋賀大学)。



自転車で伴走する奥城支援スタッフ(滋賀大学)



選手所属チームの同志社大学から武田監督(左)も途中から合流しサポートをいただきました。



選手との距離も非常に近く感じるコースで大会は行われました。実況中継もレースを盛り上げておりました。

今回のHolland Beker遠征は、土曜日は決勝進出6着、日曜日は決勝進出を逃しましたが、いずれもタフなレースとなり選手は結果以上に大きな経験をする事ができたと感じております。

選手たちはこれをステップにさらなる飛躍を目指しさらなる努力を積み重ねていくと思われしますので、引き続きのご声援をお願いいたします。

最後に今回の遠征にご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ご声援ありがとうございました

～選手・スタッフ一同～

後列左から、中上 仰 チームリーダー、奥城 哲郎 支援スタッフ(滋賀大学)、井上 千春 スタッフ。前列左から、BW2-S 銚藤 蓮(滋賀大学)、BW2-B 東野 花(同志社大学)